

令和4年度 第2回 さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会 会議録

1 開催日時 令和5年3月17日（金）午後1時30分開会

2 場 所 さいたま市 教育研究所 4階視聴覚研修室

3 出席者

委員

さいたま市ボーイスカウト協議会理事	宇田川 充
さいたま市PTA協議会理事	鈴木 崇晃
市民公募	廣澤 宣明
市民公募	佐藤 貴洋
浦和・与野地区中学校校長会代表 美園中学校長	小田切 倫子
大宮・岩槻地区中学校校長会代表 城北中学校長	遠藤 敏子
小学校校長会代表 河合小学校長	宮本 江津子
小学校校長会代表 辻南小学校長	中野 緑

事務局

館岩少年自然の家所長	新堀 栄
館岩少年自然の家所長補佐兼管理係長	平野 守
館岩少年自然の家主任指導主事兼指導係長	岩渕 正樹
館岩少年自然の家主任指導主事	曳地 常和
館岩少年自然の家主任指導主事	中尾 美香
館岩少年自然の家主任指導主事	塚本 展寛
館岩少年自然の家指導主事	馬場 正和
館岩少年自然の家指導主事	那須 菜摘女
館岩少年自然の家指導主事	佐藤 泉

4 欠席者

さいたま市PTA協議会理事	郡島 典幸
小学校校長会代表 大宮北小学校長	渡辺 明

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 なし

7 次 第

【議題】

- (1) 令和4年度自然の教室実施状況 資料1-1, 2, 3
(夏季・冬季・統計)
- (2) 令和4年度予算の執行状況
(歳入) 資料2-1
(歳出) 資料2-2
- (3) 令和5年度少年自然の家年間計画(夏季) 資料3-1
(冬季) 資料3-2
- (4) 少年自然の家中規模修繕工事進捗状況 資料4
- (5) 令和5年度運営委員会現地視察会 資料5

【連絡事項】

- (6) その他 資料6

8 議事等の概要

平野補佐 さいたま市情報公開情報公開条例第23条により、会議は原則公開する。しかし、同条例第23条1号から第3号の非公開事項に該当すると認められる場合は、非公開とする。本委員会は、会議録を作成するために録音する。

指導係長 傍聴人はなし。

【所長あいさつ】

新堀所長 自然の家は、今年度と来年度は中規模修繕工事のため、夏季・冬季ともに外部の施設を使い活動を行う。冬季は3月13日(月)に無事に最後の岸中学校・田島中学校が終わり、大きな事故なく全ての学校が終了した。運営委員会後に、実施委員会を行い、今年度の反省をいただきながら、来年度に向けて準備をしていく。

平野補佐 資料の確認 会議の成立

【議事の進行】

以下、廣澤委員長が議長として、議事進行

【協 議】

議題(1) 令和4年度自然の教室実施状況

指導曳地所員 資料1-1, 1-2の説明

指導係岩淵係長 資料1-3の説明

〈質疑〉

廣澤委員長 傷病者の対応162校中、74名の保護者のお迎えがあったが、保護者に連絡してから4時間くらいかかると思われる。実際は来るのが遅くなったり、時間がかかったりするケースはあったのか。

指導係岩淵係長 実際、保護者にお迎えを依頼してから約4時間かかるので、発熱した児童・生徒は別室で安静に待機して、保護者に引き渡しをした。

廣澤委員長 夜遅くてもお迎えに来てもらっていたのか。

指導係岩淵係長 夏季はできる限り早いうちに保護者に引き渡しをしたが、夏季であってもあまりにも遅い時間は保護者の運転のリスクが高くなるので、夜間は児童・生徒を別室で様子を見て、翌朝にお迎えの案内をした。特に冬季は、深夜・早朝は路面凍結もあるので、深夜・早朝の保護者のお迎えは控えるよう案内した。

新堀所長 夏季はコロナ禍であり、発熱者は検査をするとほとんどがコロナ感染症であったが、冬季はコロナということは全くなく、インフルエンザの対応がほとんどであった。最終日に発熱者が出ると、子どもたちはバスで帰ってしまっていて、病院で発熱した生徒と引率教員が残り、保護者に引き渡すことがあった。

議題（２）令和４年度予算の執行状況

平野補佐 資料２－１，２－２の説明

新堀所長 今年度は、公用車燃料費と暖房用燃料費が多くなっている。理由は、公用車は６台あるが、たかつえスキー場と南郷スキー場の２か所に対応するために、６台を全て活用しているためである。電気とガスの値上げによるためである。バスの補助金については、１人当たり３０００円の補助をして、残りを学校ごとに支払っていただいている。宿泊費については、自然の家を使用する場合は無料であるが、今回については、近隣のホテルを使用しているので、補助金で賄っている。

〈質疑なし〉

議題（３）令和５年度少年自然の家年間計画

指導係馬場所員 資料３－１，３－２の説明

○令和５年度自然の教室（夏季・冬季）の年間計画について。

○国立青少年教育振興機構主催の「体験の風をおこそう」事業に新たに参加する。

○「夏の家族の集い」を、たかつえを利用して実施する予定。

〈質疑なし〉

議題（４）少年自然の家中規模修繕工事進捗状況

平野補佐 資料４の説明

〈質疑なし〉

議題（５）令和５年度運営委員会現地視察会

平野補佐 資料５の説明

〈質疑なし〉

【連絡事項】

平野補佐 資料６の説明

【意見交換等】

美園中学校長 : 去年の本校の子どもたち、卒業した３年生は、準備をしていて、１週間前くらいにコロナで中止といわれ、その時の子どもたちの落胆といえは本当に相当なものだった。すごく楽しみにしていただけに、とても落ち込んでいた。今年の２年生は、そんな様子を聞いている中で、準備を進めてきた。今年は実施することができて、本当に良かった。コロナでいろいろなことが制限されていたので、みんなでやり遂げる、創り上げるということがあまり経験のないまま小学校を卒業し、過ごしてきた子どもたちである。

この宿泊学習がとっても良い機会となった。子ども同士が話し合っ
てルールを考えたり、レクを考えたりできたことで、いろいろな力が
伸びた。普段はあまり目立たない生徒も、違う面を発揮し、良い
経験になった。スキーにおいても初めて取り組む生徒が多い中、
豊かな体験になった。それぞれのホテルの仕様が異なったりして、
館岩の所員さんは本当に大変だったと思う。いろいろ助けていたお
かげで子どもたちは本当に充実した2泊3日を過ごすことができた。

城北中学校長 : 本校は今年度1番の学校でした。昨年、一昨年は中止
だった。実施にあたりアレルギーのことが1番心配だったので、万
全にして臨みたいと考えていた。今回、子供たちは体験すること、
体験から学ぶことの大切さを知った。本校は1年生が参加した。
行く前の最後の学年集会で、行くことに当たって不安な生徒が半
分くらいいたが、自然の教室に行ってみてたくさんの方の協力によ
って自信をつけて帰ってきた。

辻南小学校長 : 小学校は去年も行くことができた。去年の自然の教
室では、途中でお迎えがあったが、今年の自然の教室では、途中
のお迎えがなく、最後まで全うすることができた。非常に期待の大
きい行事である。子どもはもちろんだが、教員も。やはり、楽し
いことのためなら子どもはある程度頑張れるので、学校では徹底
できなかった規範意識ややり抜く力など、館岩の自然の教室とい
う行事を使って、子どもたちに身に付けさせいという教員の期待
も大きいと感じている。アンケートのパーセンテージが少し下
がったという紹介もあったが、期待の表れだと思っている。卒業
式の予行で、「いただきますの本当の意味を知った南郷自然の教室」
と言っていた。小学校生活の思い出の一つになっている。せっか
くみんなで創り上げる行事なので、この行事をつかって子ども
たちの力を伸ばすことを胸に、来年度もよろしくお願いします。

河合小学校 : 小学校なので去年も行くことができた。今年も行く
ことができたが、教員側としては場所もホテルも違うので、経験
のある者も不安を抱えていた。子どもたちは、とにかく行ける
ことがうれしくて、友達同士で出かけることができることを楽し
みにしていた。学校でできなかったことが、大自然の中に行くと、
なぜかできるようになる。時間を守れなかった子たちが時計も
ない中で、時間を守れるようになる、集団で行動ができるよう
になるというのは、大きな広い自然の中に投げ出すと、力をも
らう気がしている。すごく貴重な体験だと思う。学校の教室の中
に収まりきれない子どもたちが、あそこに行くと、しっかり収
まる。本当に頼もしくいつも見ている。学校に行けなかった子
どもも行ってみたいかなと思える場である。しかし、そこに行
けたからといって学校に戻ってきてから、学校に通えるかとい
うとそうではないが、そこで何かを得ていたらよいと思う。今
年は単学級の学校を経験したが、小回りがとてもきいて、今ま
ではないうちの活動をすることができた。小さい学校ならではの
良さを味わうことができた。あと1年、自然の家ではないところ
でお世話になるが、よろしくお願いします。

9 閉 会 14時20分